

三加和
中学校
学校たより

三ガキアウ



7 限目

7月
14日
金

生きる力を 育むとは…?

先週、1年生の集団宿泊教室が行われました。おすか1泊2日でしたが、親元を離れて、集団生活をして、何かを感じとってく

れていると思います。今週は、小学校でも同様に5年生が菊池に行っていました。

そのとき、ちよと感じた違和感が…それは、**自分の荷物を親に持たせる生徒が多い**ということです。確かに、人によってはかなり重く感じると思いが、持てないわけではありません。自分のことは自分です。自立の第一歩だと思

います。ある工業高校の先生が、生徒募集の説明に来られたときに言われたことが思い出されました。「学力は60%。理解できる力があればいいです。ただ、**素直であること、挨拶をすること、自分のことは自分ですること。**

こういった基本的なことは、就職するためには絶対に必要です」

この必要なことは、学校の授業で学ぶことではありません。日常生活で毎日の習慣として、少しずつ身につけていかねばなりません。こころ私にも、自分の子育てでミスをした一人なので、他の保護者には、同じ轍をふまないようにしてほしいと思っています。私には、3人の娘がいますが、一番下の娘は上とちよと離れていたのて、ついつい過保護に何でもしてやりすぎたため、「**してもらってあたりまえ**」という感覚を持っているところがあります。もう、成人しているのですが、

「**こんなんで大丈夫かな?**」と、今になって心配するところがあります。ライオンは、子どもを谷に突きおとす、と言いますが、そこまではなくても、(いたれりつくせり)で

レールを敷きつめた道を手とり足とりして歩かせるのは、まずい気がします。

私の知人の話ですが、知人の職場に新卒採用の子が入ってきたのですが、数か月したら職場に来られなくなったそうです。そして、その子の親が職場に来て、

「**次にやることがわからない。**

周りが声をかけてくれないと言っている! どういうことか!!」

と怒鳴りこんで「またそうです。当然 新規採用の子ですから、研修も行っていただき、サポートもしながら育てていたそうですが、その子にとっては、**わからなくて、もじもじしてたのだから、ちゃんと自分に声をかけて、できる仕事を準備してくれないと…**」という思いだったそうです。まあ、ここまではないにしても、最近の若い人に対して、保護者の方も似たようなことを自分の職場で「経験させているのではないのでしょうか? 三加和中の子が そうならないように、**生きていく力をつけていきま**い」と

思っています。どうか、ご協力をお願いいたします。



「母親の最高の知恵」

子どもが道ばたで転ぶ。
アメリカの母親はどうするか。
じっと見ている。
助けに行かない。
自分で立ち上がるのを待つ。
独立心を植えつけるためだ。

日本の母親はとんで行く。
助け起こす。
「かわいそう、かわいそう」とほこりを払う。
その瞬間は母子ともにハッピーだ。
でも、将来を考えると暗い。

最高の知恵を持っているのは、アフリカの母親だ。
子どもが倒れる。
どうするか。
すばやく、自分も同じようにバタツと倒れる。
子どもはびっくりする。
「あ、お母さんも倒れたッ」
母親はひとりで立ち上がる。
それを見て、子どもは自分で立ち上がることを学ぶ。

これが母親の最高の知恵だろう。

(金平敬之助 作)

返信をよろしく
お願ひします。

学校関係以外の方へ
大丈夫です。ご意見ありがとうございます。

